

# 女性の活躍を推進

## —けんせつ小町—

一般社団法人 日本建設業連合会

### 1 女性が注目されている理由

安倍内閣が日本再興戦略において女性の活躍推進を柱の一つとしたことを契機に各業界で取り組みが活発化しており、建設業界においても大きく注目を集めています。建設業が女性の活躍を推進する理由は、まずは、人材不足対策そのものです。日建連が今年3月に公表した長期ビジョンでは、2025年までに128万人程度の技能労働者の減少を見込んでおり、生産性の向上で35万人分の省人化と、90万人の新規入職者確保という目標を掲げています。

少子化で生産年齢人口の減少が見込まれる状況で、90万人はかなり高い目標であり、20万人以上を女性で確保することを目標としています。なお、90万人は目標であり、決して、90万人が不足するというものではありません。

次に、男性を含めた入職・定着促進です。建設業と言えば、3K（きつい、汚い、危険）というイメージですが、女性が働きやすい職場にすることで、男性、特に若年層も働きやすくなり、入職・定着促進になります。

三つめは、ダイバーシティの推進です。建設業と言えば長時間労働が恒常化し、週休2日も定休していないのが実態ですが、女性の活躍によって、今までの建設業の仕事ぶりや在り方をダイバーシティ（多様性）の観点から変革していくことが期待できます（図1）。

そして、建設業のイメージアップです。建設業というと男性社会というイメージですが、多くの女性が建設現場で多様な職種で活躍していることを広く国民に発信することで、建設現場や建設業に対するイメージの改善・向上が期待できます。

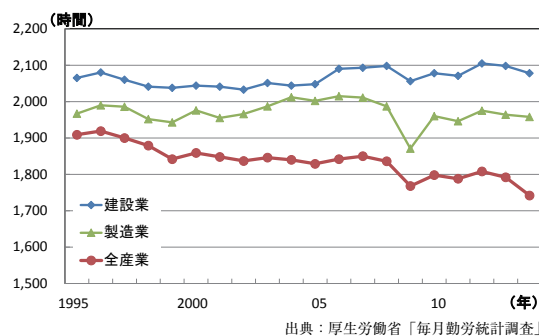


図1 年間労働時間の比較

### 2 女性の就業状況

建設業の就業者数は505万人ですが、うち女性は75万人で、建設業における女性の割合は14.9%です。全産業での就業者数6,351万人のうち女性は2,729万人で、女性の割合は43.0%ですから、建設業は全産業の3分の1程度しか女性が居ないこととなります。特に、主に下請として建設作業に

表1 就業者に占める女性の割合 (単位：万人、%)

	全体	女性	女性割合
全産業	6,351	2,729	43.0
製造業	1,040	310	29.8
建設業	505	75	14.9
技能者	344	8	2.3

従事する技能者は全体で344万人ですが、女性は8万人（2.3%）しかいません（表1）。

### 3 高齢化の進行

話は変わりますが、高齢化が著しいのも建設業の特徴です。

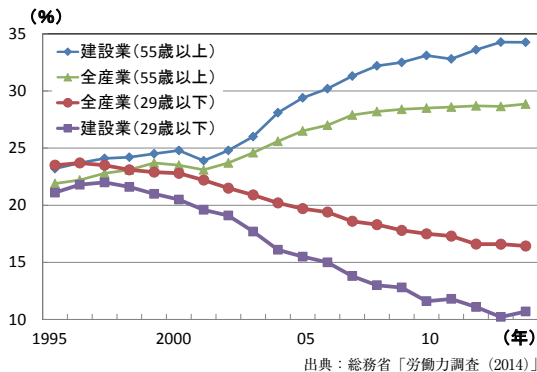


図2 建設業と全産業の年齢構成の比較

図2は建設業と全産業で就業者の年齢構成を比較したのですが、建設業は55歳以上の高齢者が多く、29歳以下の若者が少ないのが見て取れます。20年近くにも及ぶ建設投資の減少局面の中で若者の採用を抑制し続け、団塊世代が高齢化した結果です。

### 4 日建連の取組み

日建連では、団塊世代の大量離職を見据え、平成21年から建設技能者の確保・育成を重点課題として取り組んできましたが、平成25年の秋、首相官邸で開催された「経済の好循環実現に向けた政労使会議」において、中村会長が「女性を活用するための対策を早急に講じたい」と発言したことを機に、女性活躍推進の取組みを開始しました。

以降、専門工事業団体へのヒアリング、女性技能者へのアンケートなどを行い、平成26年3月に「女性技能労働者活用のためのアクションプラン」を発表しました（図3）。

「女性技能者を5年以内に倍増を目指す」ことを目標としており、具体的には「建設業には女性が活躍できる職種が多数あり、女性が入職することを歓迎することを積極的にアピールする」「女

性が安心して使用できるトイレの設置など、環境整備に最大限配慮する」「時差出勤、帰宅制度など、出産や子育てを支援する制度を導入する」ことなどに取り組むこととしました。

**女性技能労働者活用のためのアクションプラン**

平成26年3月20日  
一般社団法人 日本建設業連合会

**目標**  
女性技能労働者数について **5年以内に倍増を目指す。**

**実施事項**  
会員会社は、専門工事業者、協力会社などと連携しつつ、次の事項に積極的に取り組む。

- ① 建設業界には女性技能労働者が活躍できる職種が多数あり、女性の入職を歓迎することを積極的にアピールする。
- ② 現場において女性が「安心して使用できるトイレ」の設置などの環境整備に最大限配慮する。
- ③ 現場において時差出勤、帰宅制度などの出産や子育てをサポートするための制度を導入する。
- ④ 女性現場監督を拡充する。
- ⑤ 女性を主体とする「なでしこ工事チーム」などを設け活用する。
- ⑥ 協力会社が女性技能労働者を雇用・育成するための支援を行う。

	技能労働者数（万人）		女性技能労働者の割合
	女性	集計	
建設業	9	337	2.7%
製造業	195	657	29.7%
全産業	340	1,547	22.0%

総務省「労働力調査（2012）」より算出

図3 女性技能労働者活用のためのアクションプラン

また、平成26年8月には国土交通省と建設業5団体連名で「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を策定しました（図4）。

**もっと女性が活躍できる建設業行動計画  
(10のポイント)**

**女性技術者・技能者の5年以内の倍増を目指す**

1. 建設業界を挙げて女性の更なる活躍を歓迎
2. 業界団体や企業による数値目標の設定や、自主的な行動指針等の策定
3. 教育現場（小・中・高・大学等）と連携した建設業の魅力ややりがいの発信
4. トイレや更衣室の設置など、女性も働きやすい現場をハード面で整備
5. 長時間労働の縮減や計画的な休暇取得など、女性も働きやすい現場をソフト面で整備
6. 仕事と家庭の両立のための制度を積極的に導入・活用
7. 女性を登用するモデル工事の実施や、女性を主体とするチームによる施工の好事例の創出や情報発信
8. 女性も活用しやすい教育訓練の充実や、活躍する女性の表彰
9. 総合的なポータルサイトにより情報を一元的に発信
10. 女性の活躍を支える地域ネットワークの活動を支援

平成26.8.22 国土交通省・建設業5団体策定

図4 もっと女性が活躍できる建設業行動計画

技能者のみならず、主に元請として施工管理を担当する女性技術者も5年以内に倍増を目指すこととし、女性を登用するモデル工事を実施することや、女性を主体とするチームの情報発信を行うことなどを決定しました。

日建連では同時に「もっと女性が活躍できる建設業を目指して -日建連の決意-」も公表し、女性管理職を5年間で倍増、将来においては管理職に占める女性の割合を3割にすることを念頭に、意識改革を促すことなどを決定しました(図5)。

もっと女性が活躍できる建設業を目指して  
—日建連の決意—

平成26年8月22日  
(一社)日本建設業連合会

今日、日本の総人口が減少に転じ、人口減少社会を迎えようとしている中で、活力ある経済社会を維持するには、女性の持つポテンシャルを引き出すことが欠かせないとの観点から、産業活動のあらゆる分野で、もっと女性が活躍できる企業文化を早急に整えることが求められている。

日建連では、将来に向けて活力ある建設業を再生し、維持するため、これまで男性中心であった建設生産方式が女性が持てる力を存分に発揮できるものに再構築することを決意し、以下のとおり、今直ぐに始められることから取り組むこととしたい。

- 1 日建連会員企業は、技術系女性社員の比率を5年間で倍増、10年間で10%程度に引き上げることを目指し、土木系、建築系などあらゆる職種で、意欲ある女性を積極的に採用する。
- 2 日建連会員企業は、現在は30歳超の女性社員が非常に少ない社員構成の下にあって、女性管理職を5年間で倍増、10年で3倍程度に引き上げることを目指す。将来においては、管理職に占める女性の比率を3割にすることを念頭に、意識改革を促し、さらに女性役員の活躍を期待する。
- 3 女性が持てる力を存分に発揮できる建設生産方式に再構築するため、特に育児に配慮した勤務形態の導入や現場環境を改善するためのマニュアルを早急に策定するとともに、女性が働きやすい現場環境の整備を促進する表彰制度を実施する。
- 4 日建連会員企業は、多数の女性が施工に従事しているまたは女性が中心となって施工を担う「なでしこ工事チーム」について、日建連に登録できるようにすることとする。日建連は、「なでしこ工事チーム」の活躍状況をHPで紹介する。

図5 「もっと女性が活躍できる建設業を目指して -日建連の決意-」



写真1 太田国土交通大臣となでしこ工事チーム

また、夏休みの女子小中学生向けに現場見学会を実施するなど、建設業のイメージアップに貢献してくれています(図6)。

夏休み特別企画 ☆けんせつ小町活躍現場見学会☆

# Girls SITE

女の子集まれ!

GIRLS + WHITE

建設業にはキラキラ輝く女性がたくさん!  
女性が活躍する工事現場を見に行こう!

対象	女子小中学生およびその保護者
時期・場所	夏休み期間中(7月下旬~8月) 東京、大阪、福岡など全国の工事現場 (詳しくは下記のホームページをご覧ください)
主催	一般社団法人日本建設業連合会 後 撰 国土交通省
申し込み・問い合わせ	一般社団法人日本建設業連合会 広報部
	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館8階
	TEL: 03-3553-4095 FAX: 03-3551-4954
	<a href="http://www.nikkenren.com/sougou/genba.html">http://www.nikkenren.com/sougou/genba.html</a>

図6 けんせつ小町活躍現場見学会のポスター

## 5 なでしこ工事チーム

「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を受けて、日建連では工事現場において女性の技術者・技能者で組織するチームとして「なでしこ工事チーム」の登録を開始し、平成27年7月31日現在、48チームが登録しています。マスコミにも多く取り上げられており、第1号の登録チームには太田国土交通大臣に現地で激励していただきました(写真1)。

## 6 けんせつ小町

建設業で働く女性を表す言葉には「ドボジョ」という呼び方が以前からありました。日建連は「ドボジョ」という「呼び方」を否定するわけではありませんが、「ドボジョ」は「土木女子」の略称です。建設業で働く女性には建築系で働く女性もあり、「ドボジョ」は建設業で働く女性全体

を指す呼び方としては相応しくありません。

日建連では、官民挙げた女性活躍推進の取組みの一環として、建設業において多様な職種で活躍する女性を親しみやすい愛称で呼称することによって、建設業には女性が力を発揮できる仕事の数多くあること、そして建設業界を挙げて女性の更なる活躍を歓迎していることに広く関心を持っていただき、持続的な取組みにしていくことを目的として、愛称の募集を行いました。平成26年9月から10月にかけて2,940件の応募があり、「けんせつ小町」が選定されました。

選定理由は、ストレートに「建設」と、美しく聡明な女性を表現した「小町」の組合せは、建設業界の呼称として解りやすく、時代に左右されない愛称であり、また、「けんせつ」はひらがな表記で、柔らかい雰囲気と親しみやすさが表現されているからです。



写真2 太田国土交通大臣に愛称を報告

愛称の決定を受けて、ロゴマークも作成しました。ヘルメットをオレンジ系の花びらに見立て、建設業で明るく生き活きと活躍する女性を表現しています。5枚の花びらは、建設業の重要なファクターであるQ（品質）、C（費用）、D（工期）、S（安全）、E（環境）に因んでいます（図7）。

このロゴマークを活用して、ピンバッジやシールを作成して広く配布しています。また、建設業で働く女性を表す共通の愛称として、会員各社、マスコミ等にも広く活用するよう呼びかけています。



図7 けんせつ小町のロゴマーク

## 7 現場環境の整備

アンケートやヒアリングを行った中で多くの女性技術者・技能者から寄せられたのが、「安心して利用できるトイレや更衣室がない」といった、現場環境が女性を受け入れる体制になっていないという指摘でした。

こうした状況を踏まえ、日建連では建設現場において早急に女性に配慮した環境整備を進める必要があると考え、今年4月13日に建設現場を女性たちが働きやすい環境にするための指針として『「けんせつ小町」が働きやすい現場環境整備マニュアル』を決定し、公表しました（図8）。

本マニュアルは、現場経験のある女性を中心としたワーキンググループで策定されたもので、元請企業が、まずやらなければならないことを「MUST」とし、更にそこから充実させるべきことを「BEST」とする区分けにより、現場に応じた具体的な改善方策を整理し、明らかにしています。

例えばトイレであれば、「女性専用で施錠管理可能とする」ことは「MUST」、「女性用と男性用を明確にエリア分けし、さらに入口を分ける」ことを「BEST」としています。

「けんせつ小町」が働きやすい  
現場環境整備マニュアル



一般社団法人 日本建設業連合会



写真3 けんせつ小町委員会の初会合の様子


1. 女性が働きやすい設備等の整備	
(1) 女性に配慮したトイレを整備する	
<p><b>MUST</b> (現場の設備、現場に関わらず会員企業として行動すべき施策)</p> <p>1) 現場において、女性専用の仮設トイレを設置する ① 女性専用のトイレであることを明確に表示する</p> <p>② 男性が無断で使用できないよう施設管理する (参考例) ・トイレ通路の設置 ・鍵を鍵が管理した錠の設置</p> <p>③ 設置位置や動線に配慮する (参考例) ・現場に設置した休憩所(待合、喫煙所等)の入り口付近に場所を設けた設置 ・男性用と並列させる場合は女性専用の仮設トイレを隣に設置</p>  <p>④ 必要は設備を整備する (参考例) ・サンリナーボックス</p>	<p><b>BEST</b> (さらに建設業の魅力化を図るために取組むべき施策)</p> <p>1) 現場において、女性専用の仮設トイレを設置する 女性用、男性用を明確にエリア分けし、さらに入口を分ける</p> <p>2) より快適性に配慮した設備を整備する (参考例) ・トイレ個室内の安全帯付 ・小物入れ ・脱脂用アルコール消毒剤の提供 ・換気扇、温水洗浄便座 ・女性のニーズに応えた、和式と洋式トイレ</p>

図8 「けんせつ小町」が働きやすい現場環境整備マニュアルの一部

## 8 けんせつ小町委員会

日建連では今年4月に「けんせつ小町委員会」を設置しました。

これは常設の委員会であり、女性活躍推進の取り組みを一時的なブームで終わらせてはならないというメッセージでもあります。

当委員会は委員40名のうち女性が15名という、日建連としてはかつてない構成で発足しました。4月13日には第1回目の委員会を開催し、女性を部会長とする部会を設置することや、部会の下に二つの専門部会を設置することなどを決定しました(写真3)。

今後、この検討体制で活動を具体化していくこととなりますが、まずは建設業には女性が働ける職種が多数あり、建設業は女性の入職を歓迎していることをもっと広く知ってもらう必要があります。「けんせつ小町」の愛称とロゴマークを活用

して、あらゆる機会を通してPRしていきたいと考えています。

次に、女性に建設業で働いてもらうためには、まず、現場環境を整備することが不可欠であり、『「けんせつ小町」が働きやすい現場環境整備マニュアル』がしっかりと現場に根付くようフォローをしていく必要があります。そのため、チェックリストを作成して、公表することを考えています。また、優良事例を収集して、紹介していきたいと考えています。

最後に、日建連は大手建設会社の団体ですが、女性技能者を採用するのは元請ではなく専門工事業者です。専門工事業者が女性を採用するよう、専門工事業者と十分に意思疎通を図っていききたいと考えています。